

灯台守です！

下田海上保安部交通課
航行援助管理官付



— 現在の仕事の内容はどのようなことですか？ —

私が所属している下田海上保安部交通課では、灯台など航路標識保守、維持管理を主に行っています。船が安全に航行できるように日々頑張っています。

— 海上保安庁に入った動機やきっかけは何でしたか？ —

私が海上保安庁に入庁した時はちょうど映画「海猿」が上映され、国民の海上保安庁への期待が上がっている最中でした。その時に海上保安庁は警察機関であり、救難機関であることを知りました。また警備救難業務の他に、現在私が所属している灯台の保守業務（交通業務）や海図を所管している水路業務など様々な仕事が存在していることを知りました。また、人事異動が盛んに行われ、いろいろな業務に携われると聞き、入庁を決意しました。

— 海上保安庁に入って、印象に残っていることは何ですか？ —

休みの日に緊急呼び出しを受けたことです。それは所管している灯台が故障し明かりが灯かない事故が発生し、その灯台を復旧させるので急いで出勤して欲しいとの内容でした。その後、早急に保安部に出勤し、離島にある灯台であるため荷物をまとめ急ぎ巡視艇に乗り込み、灯台へ向かいました。灯台に着き、急ぎ修理を行ったため、どうにか夜になる前に灯台を復旧させる事ができました。もし、夜までに復旧させることができなかつたら沖を航行している船が自船の位置を間違えて、座礁や陸に乗り上げてしまう危険性がありました。これでは船が安全に海を渡ることは不可能です。そのために我々が日夜、灯台などの航路標識を維持管理しているのだと改めて実感しました。

— これから海上保安庁を希望する人達に一言 —

海上保安庁には多くの職種があり、自分に合った仕事が見つかるはずです。大変なこともあるかとは思いますが、是非挑戦してほしいと思います。